

# 事務事業チェックシート

事務事業No 143 事業名 水質汚濁防止事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	○
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		環境保全費	
	目		環境保全政策費	
	大事業		環境保全対策事業	
事項		水質汚濁防止事業		

[長期総合計画]

分野別目標	4	自然環境と都市基盤が調和した快適なまち
政策	4	自然環境・資源循環型社会の形成
施策	1	生活環境の保全
基本方針	2	水環境・土壌環境の保全

[まち・ひと・しごと創生総合戦略]

基本目標		
政策		
施策		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
		○		
44の約束				○

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間		～	
事業実施の根拠法令	水質汚濁防止法、瀬戸内海環境保全特別措置法		
関連個別計画	和歌山市環境基本計画		
担当課・担当課長 (Tel)	環境政策課	東山 雅彦(435-1114)	
関連課			

## 1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)	事業内容				
	水質汚濁防止法等に基づく、公共用水域及び地下水の常時監視及び工場排水の規制・指導等を行うことにより、環境保全に努める。また、瀬戸内海の環境保全を図るため、関係府県市と広域的な相互協力を行う。	海域・河川の常時監視、工場排水の規制・指導業務、有害物質による地下水汚染の実態調査、ゴルフ場使用農業による環境汚染調査、海水浴場の水質調査を実施する。				
実施内容	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	工場・事業場(88工場・事業場延べ208排水口)の排水監視 公共用水域河川(環境基準点9地点、補助地点9地点)及び海域(環境基準点10地点、補助地点9地点)の常時監視 地下水(30地点)の常時監視	工場・事業場(88工場・事業場延べ210排水口)の排水監視 公共用水域河川(環境基準点9地点、補助地点9地点)及び海域(環境基準点10地点、補助地点9地点)の常時監視 地下水(30地点)の常時監視	工場・事業場(86工場・事業場延べ200排水口)の排水監視 公共用水域河川(環境基準点9地点、補助地点9地点)及び海域(環境基準点10地点、補助地点9地点)の常時監視 地下水(30地点)の常時監視	工場・事業場(89工場・事業場延べ203排水口)の排水監視 公共用水域河川(環境基準点9地点、補助地点9地点)及び海域(環境基準点10地点、補助地点9地点)の常時監視 地下水(30地点)の常時監視	工場・事業場(86工場・事業場延べ200排水口)の排水監視 公共用水域河川(環境基準点9地点、補助地点9地点)及び海域(環境基準点10地点、補助地点9地点)の常時監視 地下水(30地点)の常時監視	工場・事業場(86工場・事業場延べ200排水口)の排水監視 公共用水域河川(環境基準点9地点、補助地点9地点)及び海域(環境基準点10地点、補助地点9地点)の常時監視 地下水(30地点)の常時監視

## 2 事業コスト

事業費等 千円			平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
			当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
	事業費		11,825	10,740	12,899	11,194	8,647	7,313	8,468		8,468	
	伸び率(%)		-	-	9.1%		-33.0%		-2.1%		0.0%	
	人件費	常勤職員		8,788	8,672	8,422	7,364	7,334	7,364		7,364	
		非常勤職員		121								
		小計		8,909	8,672	8,422	7,364	7,334	7,364		7,364	
	国庫支出金											
	県支出金											
	市債											
	その他											
	一般財源(税等)		11,825	10,740	12,899	11,194	8,647	7,313	8,468		8,468	
所要人数	常勤職員		1.16	1.14	1.13	0.89	0.96	0.89		0.89		
	非常勤職員		0.06									
主な予算内訳		検査分析委託料6,664千円、各種会議負担金685千円										

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	公共用水域の(河川・海域)監視地点数				年度目標値	37	37	37	37
					実績値	37	37		
	単位	地点	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度	100.0%	100.0%	100.0%	
	工場・事業場等に対する監視延べ排水口数				年度目標値	200	200	200	203
					実績値	208	210	200	
成果指標	公共用水域の環境基準達成率				年度目標値	95	95	95	95
					実績値	89.5	87.02	90.4	
	単位	%	全体目標値	95	全体目標達成度	91.8%	年度別達成度	94.2%	91.8%
	工場・事業場等の規制基準順守率(水質汚濁)				年度目標値	100	100	100	100
					実績値	99.7	99.9	99.5	
	単位	%	全体目標値	100	全体目標達成度	99.5%	年度別達成度	99.7%	99.9%

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	法定受託業務であり、測定地点及び項目数を削減することは出来ない。継続して、工場等の発生源の監視・指導を行うとともに、公共用水域等の監視に努める
「見直し」 「改善」案	